

令和元年度 事業報告書



～ つなぐハート つなげる明日 魚津市社協 ～

社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

令和元年度 社会福祉法人魚津市社会福祉協議会 事業報告

経営重点目標

1. 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり
2. 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり
3. 地域住民が自立した生活を送ることができるための権利擁護体制の構築
4. 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施
5. 地域福祉の拠点施設としての機能の拡充

取組み状況

魚津市では高齢化率が33%を超え、少子高齢化はさらに進展しています。また単身世帯の増加や人間関係の希薄化、雇用のあり方の変化など地域社会の変容により様々な課題が絡み合って複雑化し、既存の制度では対応しがたい課題が生じてきています。さらに新型コロナウイルス感染症による生活課題も加わり、市民の抱える課題はさらに深刻化している状況です。

このような中、当会では「つなぐハート つなげる明日 魚津市社協」を合言葉に「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域社会」の実現を目指し各種事業の充実・強化の推進に努めてきました。特に「中期経営計画」の見直しを行い、安定した法人運営に向けた経営改善を職員一丸となって実施しました。また「第4次魚津市地域福祉活動計画」を基本に行政、地域住民及び関係機関等と地域福祉推進のためのさまざまな協議を行い、地域生活課題に包括的な対応ができるように連携・協力する地域づくりに取り組みました。

1 地域福祉拠点（収入額：152,760,020円 支出額：149,616,371円）

1 法人運営事業サービス区分（収入額：78,918,989円 支出額：78,918,989円）

(1) 法人運営事業		予算額 20,734,000円	収入額 19,685,877円	支出額 19,685,877円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○組織の機能強化と職員の専門性を活かす人材育成に努めます。</p> <p>・部署間連携を強化し、個別ニーズに対応したケース検討会を実施し、職員の資質向上を図ります。また、人員配置は強化すべき部門への増員などを柔軟かつ適宜行える体制を目指します。</p>	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のコンプライアンス意識の徹底、能力開発及び資質の向上等を図るため、職場内研修の実施や外部研修への派遣を積極的に行うとともに、社協職員としての専門性の確立と倫理の向上に努めました。 ・地域福祉課、居宅介護支援事業所及び他の福祉法人の職員を交えた個別事例検討会や、社協職員と地域住民がともに考えるワークショップの開催など、組織を超えた学びの場を通じて資質の向上を図りました。 ・安定したサービス提供や質の高い支援を行うため業務上必須となる養成研修への参加に積極的に取り組みました。 		<p>虐待防止研修会（2月25日） 講師：富山国際大学子ども育成学部教授 室林孝嗣氏</p> <p>資格取得研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援従事者養成研修 ・サービス管理責任者研修 ・認知症対応研修 ・強度行動障害者支援者養成研修 ・介護支援専門員研修 ・医療的ケア児等コーディネーター研修
<p>○法令順守を徹底し、地域住民から信頼される法人経営に努めます。</p> <p>・諸規程等の迅速な改正、社会福祉法人としての計算書類等の公表を行います。</p>	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・旧福祉センターの廃止に伴い組織規程の見直しを行いました。また給与規程についても所要の見直しを行いました。 		
<p>○法人の経営状況、財務状況の正確な把握に努めます。</p> <p>・事業評価やコスト把握（実績・経営指標の数値のデータ比較）の分析を行います。</p>	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、社協の構成員（会員）である市民に対する社協活動への理解及び参画を呼び掛け、会費の協力依頼を行いました。 ・経営改善委員会を月1回開催し、法人全体で収支コスト管理を行い、安定的な経営状態を常に意識し事業を実施しました。 		住民会費 3,729,900円

② 福祉振興基金管理事業		予算額	0 円	収入額	0 円	支出額	0 円
年度計画				元年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○基金の名称を「魚津市社会福祉事業振興基金」から「魚津市社会福祉協議会福祉振興基金」に変更し、引き続き元本安全性の確保と運用収益の最大化を踏まえ、適正な管理運用に努めます。		利付国債と定期預金で運用		・社会福祉の振興と地域福祉の増進を図る資金として安全性の高い国債と定期預金で運用しました。		※令和元年度末残高 国債(第144回) 76,332,008円 国債(第10回) 22,358,216円 定期預金① 75,000,000円 定期預金② 7,556,940円 計 181,247,164円	
③ 地域包括支援センター介護予防支援事業		予算額	26,350,000 円	収入額	23,917,366 円	支出額	23,917,366 円
年度計画				元年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○本会職員が市地域包括支援センターに出向し、指定介護予防支援事業（要支援1・2のケアプラン作成と給付管理）、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成等を行います。		通年 本会職員5名出向 (出向職員1名増)		・派遣する職員を1名増員し職員5名（常勤職員4名、契約職員1名）を市地域包括支援センターに派遣しました。要介護状態への移行を予防するための介護予防マネジメントや介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成を行いました。		派遣職員の内訳 介護支援専門員 4名 社会福祉士 1名	
④ 介護認定調査受託事業		予算額	6,418,000 円	収入額	5,932,127 円	支出額	5,932,127 円
年度計画				元年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○本会職員が市社会福祉課に出向し、要介護認定申請者の自宅等に訪問し、心身等の状態を確認し調査票のまとめ等を行います。		通年 本会職員2名出向		・市社会福祉課介護保険係に介護認定調査員として職員2名（契約職員）を派遣し、介護認定調査業務を行いました。			
⑤ 退職共済積立事業		予算額	293,170,000 円	収入額	29,305,290 円	支出額	29,305,290 円
年度計画				元年度事業報告			
事業内容等		実施時期・目標等		主な取組み等		実績等	
○全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。		通年		・正職員50人分の掛金納付や退職年金受給者1人分の支給手続きを行うとともに、全国社会福祉協議会からの積立基金加入状況や資産運用状況等の報告を注視しました。		※令和元年度末の状況 掛金累計額 147,632,604円 退職金要支給額 170,096,536円	

(6) 中期経営計画推進事業		予算額 110,000 円	収入額 45,753円	支出額 45,753円
年度計画			元年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取り組み等	実績等
<p>○中期経営計画の進捗状況を管理するとともに、推進委員会を開催します。</p> <p>・計画の中間年にあたり中間評価を踏まえ、実施事業や財政計画を実態と照らし合わせて必要な見直しを行います。</p>		委員会開催:年2～3回	・計画3年目として、これまでの取り組みから見えた課題や現状を評価し、安定的な法人運営を行うための事業展開、財務状況の見直しを行いました。	中期経営計画推進委員会の開催 9月27日
⑦(7) 経営戦略・新規事業検討事業		予算額 150,000 円	収入額 32,576 円	支出額 32,576 円
年度計画			元年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取り組み等	実績等
<p>○本会の経営体質の強化のため、経営戦略の立案・策定・実行に向け鋭意取り組みます。</p> <p>・昨年12月に設置した「経営改善タスクフォース」(30年度は3回実施)で、各部門の経営課題の抽出と共有、解決に向けた取り組み、経営強化に向けた勉強会を開催します。</p> <p>・新規事業について、調査及び研究に励みます。</p>		通年	<p>・職員向け経営改善研修会(5月～9月 計4回)を開催しました。職員が法人全体の財政状況を把握することで、経営改善に向けた取り組みの必要性を強く認識しました。</p> <p>・職員から経営改善計画(うおっしゃプラン)を募集し、経営改善委員会で採用した計画に基づき、経営改善に向けた取り組みを強化しました。</p>	<p>実施した経営改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部デイサービス サービス提供時間延長 ・ヘルパーステーション 私的サービス利用料の見直し

2 魚津善意銀行事業サービス区分(収入額:4,933,852円 支出額:2,228,935円)

(1) 魚津善意銀行事業		予算額 5,085,000 円	収入額 4,933,852 円	支出額 2,228,935 円
年度計画			元年度事業報告	
事業内容等		実施時期・目標等	主な取り組み等	実績等
<p>○市民の皆様の善意を寄附金や寄附物品としてお預かりし、地域での福祉活動支援に活用します。寄附金額が減少傾向のため、本事業のPR強化にしっかり取り組んでいきます。なお、地区社協と福祉団体への活動助成は前年度実績の70%に見直します。</p>		随時	<p>・市民の皆さまからの善意を寄附金や寄附物品として受付し、福祉団体への活動助成金等として地域での福祉活動に還元しました。</p> <p>・魚津善意銀行事業のリーフレットを作成し、地域住民への周知を図りました。</p>	<p>寄附金額 2,468,249円(106件)</p> <p>寄附物品 新品毛布・衣類・クリーナー・炊飯器など</p>

3 地域福祉・ボランティアサービス区分（収入額：43,759,846円 支出額：43,759,846円）

(1) 見守りネットワーク推進事業		予算額 2,700,000円	収入額 2,700,000円	支出額 2,700,000円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○見守り活動を通じて、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議（地区ケース検討会）を開催し、地区社協や民生委員児童委員、福祉推進員との連携を強化し、支援体制の整備を進めます。 ・福祉推進員の役割や活動内容についての研修会を開催します。 	<p>新任福祉推進員研修会 地域ケア会議 （各地区年3回の開催）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（ひとり暮らし、夫婦世帯など）の見守り、安否確認、定期訪問をしました。また、福祉推進員活動記録様式の見直しや記録保管方法の全地区統一など、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整えました。 ・新任福祉推進員を対象に福祉推進員の役割と活動内容の周知を目的とした研修会を開催しました。 ・地域ケア会議を各地区で開催し、市地域包括支援センター等と情報交換や支援方法の検討等を行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任福祉推進員研修会 4月25日（水） ・地域ケア会議 32回開催（13地区）
(2) 地域住民グループ活動支援事業		予算額 2,440,000円	収入額 2,440,000円	支出額 2,440,000円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンに出向く回数を増やし、様々な地域のニーズ把握に努めます。 ・ボランティアやリーダーとなり得る地域人材の発掘と育成を行います。 ・講師派遣やレクリエーション用品の貸出と整備を行い、サロン活動を支援します。 	<p>目標サロン設置数：92ヶ所 サロン代表者研修会：年2回 レク用品貸出：通年 サロン講師派遣：通年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内92か所のサロンに対し、サロン代表者向けの研修会の開催、運営に関する相談、活動メニューの紹介、講師派遣などの支援を行いました。 ・レクリエーション用品の貸出し、職員によるサロンへの訪問などサロン活動が活性化するに支援しました。 		<p>登録会員数 2,136人 開催回数 1,376回 参加延べ人数 14,378人 交付助成金額 2,518千円のうち1,772千円 代表者研修会 1回 9月12日（木）81人参加 職員出向件数 81件 講師派遣件数 172件 レクリエーション用品の貸出し件数 91件</p>
(3) 地域総合福祉推進事業		予算額 4,419,000円	収入額 4,224,520円	支出額 4,224,520円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等

○誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように住民と共にニーズを把握し、地区社協と連携し生活課題を解決できるように支援します。 ・ケアネット活動の周知徹底とケアネット活動チーム増加を目指します。 ・多職種・多機関との連携による地域の支え合い助け合いの理解と意識向上を図ります。 ・社会福祉法人による地域貢献活動の促進を図ります。	地区社協会長・事務局 長会議 (年4回)	・地区社協会長・事務局長会議を年4回開催し、地域福祉活動実践に関する情報交換、生活支援方法に関する検討を行いました。 ・県社会福祉協議会と共催で、ファシリテーター養成講座を開催し、地域づくりにつながる事例検討方法を学び、地域ケア会議の充実を図りました。 ・各種研修会にてケアネットに関する情報提供を行い、ケアネット活動の周知を図りました。	4月8日 6月5日 9月4日 3月12日 ファシリテーター養成講座 7月24日(水)10:00~16:00 参加者35名
(4) 地域福祉強化事業	予算額 11,109,000円	収入額 10,113,564円	支出額 10,113,564円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員児童委員等と連携しながら地域福祉課題の解決に取り組みます。	通年	・福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員児童委員及び行政等と連携し、地域福祉を進める上での課題解決に取り組みました。	ケアネット活動の推進 ボランティア活動に関する 相談支援・情報提供等
(5) 生活支援コーディネーター活動事業	予算額 13,095,000円	収入額 12,941,854円	支出額 12,941,854円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○地域における生活ニーズを把握するとともに、地域の実情に応じた生活支援サービスを創出します。 ・支援の必要な方の生活課題、ニーズを抽出・分析してその解決方法を地域住民とともに検討します。 ・地域ケア会議（地区ケース検討会）の拡充を図り、関係機関、関係団体、企業などとのネットワークを構築します。 ・地域の居場所づくりや人材発掘・育成を目的とした研修会を開催します。 ・各種研修会、協議体会議に出席し、介護予防・日常生活支援総合事業のあり方について協議を行うと同時に新たな生活支援サービスの創出について検討します。	事例検討会（月2回） 養成研修会6回（8月～10月） 協議体会議（年3回）	・旧経田福祉センター活用推進委員会に参加し、介護予防事業、コミュニティカフェなどの在り方について地区住民と継続的に協議を実施しました。また、事業周知に向けたポスター、チラシ作成などに積極的に関わりました。 ・魚津市内要支援者のケアプランを基に各地区の支援内容の集計をしました。その結果から地区ごとに課題の抽出や生活支援サービスの内容を把握しました。	定例会 10回 （4/21、6/18、7/16、8/20、 10/15、11/19、12/20、2/18、 3/17） 地域ケア会議（全体会） 2回 ありそドーム （7/31、2/14）
(6) 買い物サービス支援事業	予算額 350,000円	収入額 250,000円	支出額 250,000円

年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○買い物の課題に対して、地域住民による買い物支援を 実践し福祉のまちづくりを推進します。</p> <p>・現在実施の大町地区社協、片貝地区社協、西布施地区 社協の活動と、新たに実施を検討する地区社協を支援 します。</p>	<p>市場形式：大町 移動注文販売形式：片 貝 新規開催地区社協</p>	<p>・地域の特性に合わせた買い物支援を地区社協と連 携して実施しました。</p> <p>・新規に上野方地区（移動注文販売形式）を支援し ました。</p>	<p>大町地区：1,009人 47回 片貝地区：175人 11回 西布施地区：116人 17回 上野方地区：35人 5回</p>
(7) 障害者移送支援事業	予算額 5,546,000円	収入額 5,427,479円	支出額 5,427,479円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○専用特殊車両を用いて、自力での移動が困難で常時車 椅子を利用する方の移動を支援します。</p> <p>・移送サービスを行う全ての職員を対象に車椅子操作の 技術向上を図るため、車椅子の取扱や注意点を学ぶ研 修会を開催します。</p>	<p>利用目標：年間670回 (月平均55回)</p>	<p>・車いす用車両を用いて、自力での移動が困難で常 時車椅子を使用している方を対象に通院等の支援 を行いました。</p>	<p>利用回数：589回 (月平均49回)</p> <p>利用者：25名（新規3名）</p>
(8) ひとり暮らし高齢者給食サービス事業	予算額 802,000円	収入額 802,000円	支出額 802,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○ひとり暮らし高齢者等に対し、調理ボランティアによ る手作りのお弁当を、民生委員・児童委員等が見守り を兼ね配食することにより、その高齢者の自立生活を 支援します。</p> <p>・配食が必要な利用者の状況把握を取り、それぞれに応 じた支援方法を検討します。</p> <p>・調理ボランティアの交流と資質向上を図るための研修 会を年2回開催します。</p> <p>・代表者連絡会を年2回開催し、グループ運営の支援を 行います。</p>	<p>目標提供数：1,410食 上中島：400食（第2・ 4土） 上野方：320食（第 2・4金） 経田：690食（第1・ 3土）</p>	<p>・調理ボランティアを対象にした研修会、代表者連 絡会を開催し、ボランティアによる運営体制の充 実を図りました。</p> <p>・民生委員・児童委員とともに新規に配食を希望す る利用者宅を訪問し、生活状況の把握などの実態 調査を行いました。</p>	<p>・調理ボランティア研修会 開催(6月19日、10月28日) ・担当者連絡会議の開催 (9月18日、3月13日)</p> <p>延食数：1,376食 上中島：426食 上野方：311食 経田：639食</p>
(9) ファミリーサポートセンター事業	予算額 4,064,000円	収入額 3,933,429円	支出額 3,933,429円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○地域において育児の援助を行う者と育児の援助を受け</p>	<p>目標預かり件数 15</p>	<p>・サービス利用希望者と支援者のスムーズなマッチ</p>	<p>預かり件数：12件</p>

たい者を組織化し、相互援助活動により保護者等が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるよう支援します。 ・会員や子育てサロン担当者、子育て中の住民を対象とした講習会を開催します。	件 講習会：3回	ングに努めました。 ・活動に必要な支援方法を学ぶための研修会の開催を開催し、協力会員の募集に積極的に努めました。	講習会：3回 協力会員22名（1名増） 依頼会員97名（6名増、6名減） 両方会員2名（1名増、1名減）
(10)ボランティア活動事業			
ボランティアセンター運営事業 予算額 527,000円		収入額 527,000円	支出額 527,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○ボランティアニーズの受付調整を行い、ボランティア活動への参加を促進します。 ・ボランティアに関する情報収集・発信を積極的に行います。 ・災害に備えた地域の取り組みを推進するため、災害救援ボランティアリーダー研修会や職員全体で災害ボランティアセンターの役割や運営知識の向上に努めます。また、養成講座の開催や福祉教育を通してボランティア交流活動の機会の提供を図ります。 ・ボランティアやボランティアサポーターが、地区社協等と連携して活動できるよう支援します。	V養成講座：2回 Vサポーター研修会：1回 災害ボランティアセンター設置訓練 運営委員会：1回	・ボランティア登録情報を更新し、ボランティア団体、個人の情報把握と管理と共に、活動保険加入を促進し安心して活動できるよう支援しました。 ・災害救援ボランティアリーダー研修会や災害ボランティアセンター設置訓練を行い、災害時を想定した体制整備を行いました。 ・地区社協や地域住民を募り、台風19号で被害のあった長野市へ災害ボランティアを派遣しました。被災者の気持ちに寄り添う貴重な経験となり、現地のボランティアセンターの役割や魚津市でのセンター運営等をどのようにすべきか考える機会となりました。	相談件数 995件 登録状況 (個人42人・74団体 延2,472人) ボランティアサポーター研修会 6月5日 災害救援ボランティアリーダー研修会 8月28日 長野市災害ボランティア活動（2回） 11月22日 15名参加 12月1日 25名参加
福祉教育地域指定推進事業 予算額 100,000円		収入額 100,000円	支出額 100,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○福祉のこころを育み、福祉についての理解を深め、関わる実践力が身に付くよう支援します。 ・今年度は特定地区を指定せず、市全体における福祉教育を推進します。	福祉教育実施件数：10件 情報交換会：1回	・市内に暮らす障がいのある人たちの協力を得て福祉教育を推進しました。 ・中学校において、富山県障害福祉課、富山福祉短大の学生を講師に迎え、「障害者理解のためのブツ	清流小 11月5日（火） 11月8日（金） よつば小 12月10日（火） 西部中 1月15日（水）

・学校において福祉教育の内容が多少異なるため、学校間の情報交換や教師の資質向上を目的とした情報交換などを実施します。		クレットプロジェクト2019特別授業」を開催しました。 ・加積地区社協等、富山県車いすバスケットボールクラブと協働し、「車いすバスケットボール交流会」を開催しました。	開催日 8月10日(土) 開催場所 清流小体育館
(1)福祉教育サポーター養成確保事業	予算額 300,000円	収入額 300,000円	支出額 300,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○福祉のまちづくりを推進する人材を養成確保します。 ・福祉教育サポーター設置検討委員会において、人材養成・確保について検討します。 ・福祉教育を推進し、学校や地域で活躍する福祉教育サポーターの養成講座を開催します。	委員会：3回 養成講座：5回	・福祉教育サポーター養成講座(3講座)を開講し、25名に修了証を交付しました。 ・前年度からの課題であった小・中・高別の「福祉教育プログラム」を作成しました。	第1回 8月27日(火) 第2回 9月24日(火) 第3回 10月5日(土) 福祉教育サポーターの活動 清流小 1名 よつば小 1名

4 総合福祉相談事業サービス区分(収入額：7,850,938円 支出額：7,850,938円)

(1) 総合福祉相談事業	予算額 240,000円	収入額 240,000円	支出額 240,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○心配ごと、悩みごとに関する様々な相談に対して、必要な福祉サービスに関する情報提供や助言を行います。また、相談者の問題解決に向けて、社協の関係部署や最適な関係機関等と連携を取りながら、地域で安心して暮らせるようにサポートします。	通年	・生活に関するさまざまな相談に応じ、適切な専門機関へのつなぎや、関係機関と連携し相談支援を行いました。	心配ごと相談・福祉なんでも相談件数 1,035件
(2) 日常生活自立支援事業	予算額 6,644,000円	収入額 6,408,938円	支出額 6,408,938円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよ	通年 利用者数：55名	・金銭管理、福祉サービス利用援助等、利用者の判断能力に適した支援を検討し、代理、代行、同行、	相談援助件数 1,648件 新規契約締結件数 11件

う、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。 なお、判断能力の低下により本事業での支援が困難となる利用者に対しては、家族や行政等と話し合い、成年後見制度への移行を検討していきます。	生活支援員登録者数： 22名	相談の各支援を行いました。 ・利用者の生活に応じた支援を行うため、生活支援員の訪問時間を調整し、利用者の自立の促進に努めました。	契約終了件数 10件 3月末利用者数 56名 内訳：男性30名・女性26名 (認知症19名 知的5名 精神28名 その他4名) 入所・入院利用者43名 在宅利用者 13名
(3) 生活福祉資金貸付事業	予算額 431,000 円	収入額 402,000円	支出額 402,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対して、資金の貸付けと必要な相談援助を行い、経済的自立を図り安定した生活を送れるように支援します。 ・借受人の償還状況について、定期的に県社協から報告を受けるとともに、滞納者に対しては、電話や自宅訪問を行い生活状況を確認し、滞納理由に応じた支援や償還方法などについて県社協と協議を行います。	通年	・世帯状況や自立に向けた生活を相談者とともに考えながら、貸付資金に関する相談支援を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少となった世帯の資金需要に対応する、緊急小口資金及び総合支援資金の特例措置貸付相談を3月25日より行いました。	資金貸付相談 1,039件 新規貸付 緊急小口資金 2件 緊急小口資金(コロナ特例) 1件
(4) 生活困窮者自立支援事業	予算額 400,000 円	収入額 400,000 円	支出額 400,000 円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○生活保護に至らない生活困窮者に対し、経済的自立や社会的自立など、本人の状態に応じた自立支援に努め、関係機関との連携を図ります。 ・食べることに困っている方や喫緊に生活上の困難に直面している方に対して、必要に応じて緊急的に食料支援を行う「フードネーション支援」を行います。 ・「フードネーション」の周知とともに、食料を提供していただける協力者を募集します。	通年	・生活に不安を抱えている方、就労に不安がある方を対象に富山県東部生活自立支援センターと連携し、経済的な自立に向けた支援を行いました。また食料を必要とする方には、フードネーションによる緊急食料支援を実施しました。	・月1回 富山県東部生活自立支援センターによる巡回相談の受入れ ・フードネーション 支援件数 15件 登録企業 2事業者 個人登録 5名
(5) 法人後見推進事業	予算額 400,000 円	収入額 400,000 円	支出額 400,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方を支援す	通年	・判断能力が不十分な方への成年後見業務（補助）	受任件数

<p>るため、当法人が成年後見人、保佐人若しくは補助人となり、判断能力が不十分な方の保護、支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見体制の強化と被補助人への適切な支援 ・法テラス等関係機関との連携強化による成年後見制度の普及啓発 ・法人後見推進委員会による受任の適否、後見等業務の助言、指導等 	<p>法人後見推進委員会の開催 (年2～3回予定) 法人後見セミナーの開催 (年1回)</p>	<p>を行いました。業務にあたっては、法人後見推進委員会を開催し、助言や指導を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地区の生活支援員、民生委員児童委員、福祉・保健・医療従事者を対象とした成年後見セミナーを開催し成年後見制度の周知を図るとともに、成年後見制度利用に関する相談に応じました。 	<p>被補助人1件(継続) 法人後見推進委員会 2月13日(木) 13:30～ 成年後見セミナー 2月25日(火) 14:00～ 参加者56名</p>
---	---	--	---

5 共同募金事業サービス区分(収入額: 4,156,506円 支出額: 3,717,774円)

(1) いきいきサロン活動事業		予算額 800,000円	収入額 800,000円	支出額 800,000円
年度計画		元年度事業報告		
<p>事業内容等</p> <p>○高齢者の孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの代表者や世話役を対象とした研修会を実施し、情報提供と運営等の課題に対応します。 	<p>実施時期・目標等</p> <p>サロン代表者研修会 年2回 レクリエーション用品の購入</p>	<p>主な取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内92か所のサロンに対し運営に関する相談、情報提供を行うとともに、活動助成金(一部)を交付しました。 	<p>実績等</p> <p>交付助成金額2,518千円のうち746千円</p>	
(2) 地区社協活動推進事業		予算額 1,004,000円	収入額 1,004,000円	支出額 1,004,000円
年度計画		元年度事業報告		
<p>事業内容等</p> <p>○地区社協の活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13地区社協の小地域福祉活動計画に基づく各種活動の実践を支援します。 	<p>実施時期・目標等</p> <p>通年</p>	<p>主な取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13地区社協の小地域福祉活動が推進されるよう支援しました。 	<p>実績等</p>	
(3) 福祉でまちづくり活性化事業		予算額 480,000円	収入額 480,000円	支出額 480,000円
年度計画		元年度事業報告		
<p>事業内容等</p> <p>○福祉の相互理解や意識の啓発を図るとともに、福祉に関する担い手の育成や生きがいの創出等に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決のため「くらしのあったか応援隊養成 	<p>実施時期・目標等</p> <p>通年 養成講座: 年3回</p>	<p>主な取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚津市まちづくりフォーラム」に参加し、「支え合いマップづくり事業」について、来場者に分かりやすい展示と説明を行いました。 	<p>実績等</p> <p>2月24日(月) 魚津市まちづくりフォーラム参加</p>	

講座」を開催し、福祉人材の養成を行います。 ・魚津市まちづくりフォーラムの企画段階から参画するとともに、社協の取り組みを紹介しまちづくりを推進します。	フォーラム：年1回 (2月頃)		
(4) 支え合いマップづくり事業	予算額 100,000円	収入額 100,000円	支出額 100,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○自治会長をはじめ、地区住民が可視化できるマップを作成し、情報を共有するとともに、地域の課題解決を図ります。 ・経田地区、西布施地区でのマップづくりを進めます。 ・上野方地区、加積地区、道下地区のマップ更新を支援します。	新規：37行政区	・経田地区 経田公民館にて4回にわたり町内会長等へのマップづくりの目的等の説明会の開催後、町内ごとの作成に関わりました。 ・西布施地区 西布施公民館にて全町内にて説明会後、マップづくり（日尾・御影地区不参加の為、後日作成） ・上野方地区、加積地区、道下地区のマップ更新各地区、町内ごとのマップ作成に関わりました。	
(5) 社会福祉大会開催事業	予算額 658,000円	収入額 593,323円	支出額 593,323円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○第68回魚津市社会福祉大会を開催します。 ・福祉関係者をはじめ、広く市民の皆さんに地域福祉を考える機会とします。 ・福祉事業功労者の表彰、大会宣言の承認と大会決議の採決、記念講演を実施します。	日時：7月13日(土) 13時30分 会場：新川文化ホール	・福祉関係者・福祉団体・魚津市民など約300人参加のもと、7/13(土) 新川文化ホールにて第68回魚津市社会福祉大会を開催し、地域福祉の推進や地域共生の在り方について考えました。	・会長表彰(8名1団体) ・感謝状贈呈(15名4団体) ・アトラクション いこーるライブ With CHIKO
(6) 広報啓発活動事業	予算額 299,000円	収入額 299,000円	支出額 299,000円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○「より見える、見やすい社協活動」を常に意識し、住民や関係団体からの信頼や協力を得、相互に利益をもたらす関係の構築に努めます。 ・社協が取り組む事業や活動の有効性、地域福祉活動の主人公である住民の主体性を引き出す情報発信を行います。	広報誌発行：年4回 (5月・8月・11月・2月) ホームページの更新 イメージキャラクター「うおっしゃくん」	・6月・10月・3月に「社協だより」を発行し、魚津市社協が取り組む事業や福祉活動などについて、情報発信を実施しました。併せて、魚津市社協のホームページを活用し、収支報告、行事予定、義援金募集、研修会の案内などを継続的に行いました。	・広報誌「うおづ社協だより」年3回発行 ・ホームページ随時更新

・情報発信の手段（組織内部・利用者やその家族・地域社会に対するの広報）のあり方を工夫します。		によるPR強化	た。	
⑦(7) 魚津あったか食堂事業		予算額 338,000円	収入額 662,183円	支出額 223,451円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○子どもから大人まで、誰もが集まれる場所として、みんなでワイワイ家庭の味を食べられる食堂として取り組みます。 ・ボランティア主体の運営を図り、地域住民の福祉を向上に努めます。	実施回数：年10回 参加者数：見込み 30人/回 実施場所：協議中 ※高校生以下：無料 大人：200円		・旧福祉センター百楽荘にてボランティア主体の食堂を開催しました。温かい雰囲気の中、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方々の交流を図りました。 ・調理、当日の運営などを多くのボランティアに協力いただくとともに、お米や野菜などの寄付も多く寄せられました。	実施回数：9回 延来場者：659名
⑧(8) 地区社協役員等研修支援事業		予算額 218,000円	収入額 218,000円	支出額 218,000円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○13地区社協役員等の視察研修の企画、調整を支援します。	年1回		・視察研修（11月に飯山市社協）の予定を変更して、台風19号の被害を受けた長野市への災害ボランティア活動を実施しました。	11/22(金) 15名参加 12/1(日) 25名参加

6 生きがい推進事業サービス区分（収入額：20,027,242円 支出額：20,027,242円）

(1) 旧福祉センター維持管理事業				
旧百楽荘維持管理事業		予算額 5,543,000円	収入額 5,543,000円	支出額 5,543,000円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等		主な取組み等	実績等
○施設の維持管理と管理経費の節減に努めながら効率的に管理します。			・旧福祉センター百楽荘における供用に関する業務、利用の制限、施設、附属設備及び物品の保全、清潔整頓その他環境整備に関する業務を行いました。	年間延べ利用者数 8,983人 (前年度 8,379人) 利用者への新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底

		・ 3月14日をもって閉館し、次年度以降の施設管理と備品等の取扱いについて市と協議を行いました。	2月～3月
(2) 通所型介護予防事業	予算額 14,467,000円	収入額 14,494,242円	支出額 14,484,242円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○旧福祉センター百楽荘を活用し、地域で暮らす人々が、介護予防教室に参加し、それぞれの希望や能力に応じて、生きがいを感じながら元気で活躍できる機会をつくります。</p> <p>○住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、生きがいづくりや健康寿命の延伸に努めるため、「おたっしや介護予防教室」を開催します。</p> <p>・開催日時 新金屋教室：火曜日から土曜日まで 午前10時から午後3時まで 経田教室：火曜日・土曜日 午前9時45分から午前11時15分まで 木曜日 午前9時45分から午後3時まで (祝日、お盆、年末年始は、教室の開催はありません。)</p> <p>・教室内容 体操：ストレッチ、筋力アップ、失禁予防、認知症予防レクリエーション 創作：押し絵、貼り絵、折り紙、絵手紙、書道、俳句、小物づくり など 脳トレ：健康麻雀、花札クラブ、まちがい探し カラオケ教室：うたごえクラブ 栄養改善料理教室：低栄養予防や食生活のアドバイス</p> <p>・野外でチャレンジ ・介護予防教室成果発表会 ・絵手紙教室展示会 ・市主催事業：脳まめなけクラブ</p>	<p>通年 目標：20,000人 (前年度目標：同数)</p> <p>年1回 6月 秋頃 随時</p>	<p>・新金屋教室、経田教室として、高齢者の要介護状態や認知症予防を目的とした「おたっしや介護予防教室」を開催しました。</p> <p>(内容) バイタルチェック 体操、認知症予防レクリエーション 創作教室、認知症予防教室、栄養改善教室</p> <p>・介護予防教室参加者のための送迎バス(福祉バス)を運行しました。</p> <p>・市と連携して、脳まめなけクラブ参加者の健康寿命の延伸に取り組みました。</p> <p>・楽しく体操や創作教室に参加してもらえよう介護予防教室の内容、運営の工夫を凝らすとともに、NICETVの「まちかど魚津」のコーナーで、楽しく介護予防に参加している様子や作品を紹介するなど周知に努めました。</p>	<p>延参加者数 19,720人 内訳 新金屋 13,356人 経田 6,364人 (前年度 延24,280人 内訳 新金屋 17,020人 経田 7,260人)</p> <p>市内いきいきサロンでの介護予防教室 20件 介護予防成果発表会 6月22日(土) 参加者 160人 野外でチャレンジ活動 行き先：四季防災館、 梅かま見学 10月8日(火) 新金屋教室 参加者17人 10月17日(木) 経田教室 参加者23人</p> <p>送迎バス運行 石垣新 45回 199人 片貝・加積 47回 422人 西布施 47回 251人</p>

・ 広報媒体、出張サロンを活用して介護予防の重要性を
周知する。

随時



魚津あったか食堂事業



長野市への災害ボランティア派遣



第 68 回社会福祉大会記念アトラクション いこーるライブ with CHIKO

2 児童センター拠点（収入額：85,790,854円 支出額：85,194,218円）

1 児童センター管理経営事業サービス区分（収入額：48,057,427円 支出額：47,460,791円）

(1) 児童センター管理経営事業		予算額 48,055,000円	収入額 48,057,427円	支出額 47,460,791円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○4回目の指定管理（平成31年度から5年間）を受け、地域住民の期待に応えうる児童センターの経営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健全な遊びを通して児童の心身を育成し情操を豊かにするため、魅力ある遊びのプログラムや行事を企画し運営します。 障がいを持つ児童も含め、個々の環境に適した指導・支援体制の充実を図ります。 児童が安心して過ごせる居場所の確保・危険防止と過ごしやすい環境を整備します。 4センター合同の『うおづ児童センターまつり』を開催し、広く児童センターの活動の周知を図ります。 小学校長や主任児童委員等で構成する児童センター運営会議を開催し、意見や助言を求め、適正な管理等に努めます。 	<p>目標：66,000人 （前年度目標：68,000人）</p> <p>10月開催予定</p> <p>年1回（5月に開催）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各児童センターの特色や幅広い年代のボランティア人材を活かした行事を実施しました。 【かもめ】昔の遊びに挑戦！ 72人 高校生とやきそばパーティー 33人 「ふくし」を学ぼう 35人 【つばめ】中学生とやきそばパーティー 20人 公民館でカラーライスづくり 19人 【ひばり】公民館でクッキング 20人 いらっしやい東部デイさん 12人 【すずめ】福祉講座（車いす体験をしよう） 69人 高校生と遊ぼう！ 100人 児童が安全に利用できる環境整備や、安心できる居場所づくりのための取組として、研修会への参加や自主研修会を開催しました。 『うおづ児童センターまつり』を10月5日（土）にありそドームで開催しました。児童による実行委員会を立ち上げ、子どもたちが主体的に参加できる取り組みを行いました。当日は保育園児から児童まで多くの参加者がありました。 		<p>来館者数：62,059人 かもめ：10,958人 つばめ：15,858人 ひばり：15,686人 すずめ：19,557人</p> <p>児童センター運営会議 5月23日 開催</p>
				<p>（前年度実績） 来館者数：68,341人 かもめ：12,884人 つばめ：20,284人 ひばり：17,054人 すずめ：18,119人</p>

2 放課後児童健全育成事業サービス区分（収入額：31,623,507円 支出額：31,623,507円）

(1) 放課後児童健全育成事業		予算額 32,402,000円	収入額 31,623,507円	支出額 31,623,507円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○下校後に保護者が仕事等で家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに「つばめ村木学童クラブ」を旧村木小学校内に開設し、3年生以上約50人の利用登録児童の支援に努めます。 保護者、学校、地域等関係機関と連携を図り、子どもたちの遊びの環境づくりに対する支援を行います。 放課後児童支援員の資質向上を目指し、専門性を高めます。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> 新たに『つばめ村木学童クラブ』を加え、5つの学童児童クラブの運営を行いました。 新型コロナウイルス感染症による学校休業に伴い、感染防止対策を行いながら児童の遊びと生活の保障し、保護者の就労支援に努めました。 支援員等の質の向上を図るため、臨床心理士による定期的なアドバイス（県事業）、研修会への積極的な参加を行いました。 		<p>延利用者数：50,396人</p> <p>かもめ：6,565人 つばめ：12,837人 つばめ村木：4,278人 ひばり：13,032人 すずめ：13,684人</p> <p>（前年度実績）</p> <p>延利用者数：49,790人</p> <p>かもめ：8,040人 つばめ：16,123人 ひばり：12,822人 すずめ：12,805人</p>

3 地域子育て支援事業サービス区分（収入額：6,109,920円 支出額：6,109,920円）

(1) 地域子育て支援事業		予算額 6,159,000円	収入額 6,109,920円	支出額 6,109,920円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等		実績等
<p>○乳幼児親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子育ての不安・悩みを解消できるよう支援に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する相談・援助や情報提供などを行います。 親子の居場所づくりのため、また来たいと思える環境整備に努めます。 	<p>通年</p> <p>目標利用組数 親子教室(水・金) 親子1,800組 ひろば 親子 900組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活に入る前の6か月～3歳児を対象に子ども同士・親同士の交流の場や遊び等を提供しました。 子育てに関する情報提供、骨盤ヨガなどのリフレッシュ講座など保護者支援を積極的に行いました。 魚津市子育てコーディネーターによる定期的な相 		<p>【親子教室(水・金)】</p> <p>幼児：1,480人 保護者：1,472人</p> <p>【ひろば(月)】</p> <p>幼児：611人 保護者：572人</p>

		<p>談会を開き、子育てに関すること、保育園等の入園や発達に関することなどの不安・悩みを解消しました。</p>	<p>【ひろば(火)】 幼 児：259人 保護者：255人</p> <p>(前年度) 【親子教室(水・金)】 幼 児：1,544人 保護者：1,484人</p> <p>【ひろば(月)】 幼 児：755人 保護者：722人</p>
--	--	---	---



車椅子を体験しよう(すずめ)



いらっしやい東部デイさん(ひばり)



うおづ児童センターまつり(ありそドーム)

3 障害福祉サービス拠点 (収入額：86,410,000円 支出額：85,379,150円)

1 障害者交流センター管理経営事業サービス区分 (収入額：4,182,883円 支出額：4,050,291円)

(1)障害者交流センター管理経営事業 予算額 4,194,000円		収入額 4,182,883円	支出額 4,050,291円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
○4回目の指定管理(平成31年度から5年間)を受け、障がいのある人たちの自立と社会参加の促進に寄与するための施設づくりに努めます。 ・利用者の集いの場、遊びの場となる居場所づくりに努めます。 ・利用者支援に対応できる人材の育成に努めます。 ・地域との交流、情報の発信による利用者の確保に努めます。 ・施設の有効活用として、ダンス教室やスポーツレクリエーション活動を企画します。 ・交流センターだよりを定期的に発行します。	通年 目標：8,500人 (前年度目標：8,800人)	・交流センターだよりを定期的に発行しイベントの案内や情報提供を行い、利用促進に努めました。 ・パラリンピック開催に向けて、選手が効率よく練習するための利用調整、ボランティア募集を行いました。また、地域住民を交えた「ボッチャ体験教室」を開催し障がい福祉への理解促進に努めました。 ・「ダンス教室」を月2回開催し、地域の様々なイベントへの出演を行い、障がい福祉の普及啓発に努めました。	年間利用者数 8,635人 交流センターだより 年6回
	年6回		(前年度) 年間利用者数 8,223人
	年6回		

2 障害者地域生活支援事業サービス区分 (収入額：15,937,950円 支出額：15,428,306円)

(1) 障がい者相談支援事業 予算額 14,876,000円		収入額 15,027,450円	支出額 14,517,806円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等

<p>○障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援等に努め、障がい者の自立した日常生活および社会生活を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なサービス等利用計画書の作成とモニタリングを実施します。 ・様々なニーズや課題に対応するため、関係機関と連携します。 <p>○相談支援専門員のケアマネジメントのレベルアップめざし、研修会や他職種との交流会に参加します。</p>		<p>計画書 80件 モニタリング 100件 相談部会定例会 月1回 研修等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の障がいのある方の様々な相談に応じ、福祉サービス等の情報提供や不安の軽減、地域で豊かに暮らしていくための社会資源づくりに努めました。 ・福祉サービスを利用する人にサービス等利用計画とモニタリングを実施しました。利用者の実態に応じたよりきめ細かいモニタリングを行い、収益増を目指しました。 ・新川地域自立支援協議会 地域生活支援部会の幹事として、新川圏域内のグループホーム職員の研修会を開催しました。 	<p>委託相談件数 1,361件 計画書 135件 モニタリング 171件</p>
(2) 手話・朗読奉仕員養成事業		予算額 738,000 円	収入額 630,500 円	支出額 630,500 円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
<p>○聴覚障がい者の自立や社会参加を促進するために必要なコミュニケーション支援を行なう手話奉仕員の養成を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市民手話教室（入門・基礎講座）を開催します。 	<p>入門講座 20回 基礎講座 25回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成のため、市民手話教室（入門過程、基礎課程）を開催しました。 <p>入門過程：手話初心者対象 基礎課程：入門過程修了者、手話経験者対象</p>	<p>入門講座 20回 4人受講（修了者4人） 基礎講座 25回 9人受講（修了者7人）</p>	
(3) 障害者IT推進員派遣事業		予算額 280,000 円	収入額 280,000円	支出額 280,000円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
<p>○障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流センターでパソコン教室を開催します。 	<p>パソコン教室 第4土曜日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者交流センターで月1回パソコン教室を開催しました。参加者が増え、パソコンに関する情報交換に加え、交流の場としても活用されました。 	<p>パソコン教室 毎月第4土曜日</p>	

3 グループホーム大光寺事業サービス区分（収入額：8,875,027円 支出額：8,524,175円）

(1) グループホーム大光寺事業	予算額 9,542,000 円	収入額 8,875,027 円	支出額 8,524,175 円
------------------	-----------------	-----------------	-----------------

年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○利用者がその人らしい生活を送れるように個別支援計画を立て支援しながら、入居者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員や世話人のスキルアップめざし、研修等に参加します。 ・利用者負担金の改定（家賃の値上げ）し、経営の安定化を図ります。 	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・世話人の資質向上に向けた取組みとして定例的なミーティングの開催、情報交換を行いました。また、新川地区の世話人交流会に参加し、他事業所の取組みについて情報交換を行いました。 ・近隣グループホームとの利用料の格差、入居者の負担とならない利用料の設定を行い、経営改善に取り組みました。 	利用者 6 名

4 つくし学園管理経営事業サービス区分（収入額：57,414,140円 支出額：57,376,387円）

(1) つくし学園管理経営事業		予算額 57,417,000円	収入額 57,414,140円	支出額 57,376,378円
年度計画		元年度事業報告		
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等	
<p>○新川地域の中核的な児童発達支援センターとして、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」が専門的に行える施設づくりを行います。また、地域のニーズを敏感にとらえ、子ども達が健やかに育つことができる地域支援体制の整備に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援、保育所等訪問、障害児相談支援、障害児療育支援を適正に行います。 	通年	<p>【児童発達支援事業（通園部）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地域における中核的な児童発達支援センターとして、障がいのある子どもたちやその保護者が地域で安心して暮らしていくための支援体制整備に取り組みました。 ・園児の発達段階、健康状態をきめ細かく把握し一人一人に合わせた発達支援を目的に安全な園運営に努めました。 ・就労している保護者が増加している中、園児の受け入れ時間の延長、降園後利用できる福祉サービス事業所の調整などを行い、子どもたちに必要な発達支援が提供できる体制を整えました。 ・日常的な相談、家庭訪問、個別面談、保護者サロンの開催など家族支援に積極的に努めました。また、きょうだい児サロンを開催し、きょうだい同士の交流に努めました。 	<p>契約園児数：25人 開所日数：242日 延利用者数：4,868人 (前年度実績) 契約園児数：25人 開所日数：242日 延利用者数：4,626人</p> <p>園内事例検討会：12回 社協内事業所合同研修会：5回</p> <p>保護者サロン：年12回</p> <p>保育所等訪問</p>	

		<p>【保育所等訪問支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員を1名増員し、保育園、放課後児童クラブでの支援強化に努めました。 <p>【障害児相談支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いや家族のニーズに沿ったサービス等利用計画、モニタリングを実施しました。 ・新川地域自立支援協議会児童部会の幹事として、障がいのある子どもたちの放課後支援研修会を開催しました。また、関係機関と連携し医療的ケア児の事例検討会を開催しました。 <p>【障害児等療育支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や保健センターに出向いての相談、土曜日の相談対応など保護者の集いに合わせて相談を行う等、相談しやすい環境を整えました。 ・地域の保育士向けに発達に気になる子どもたちの支援方法や家族支援について勉強会を開催しました。 ・医療的ケア児とその保護者の交流会を開催し、情報交換や、地域で暮らす仲間づくりに取り組みました。 	<p>契約者数：251人 延利用者数：248人</p> <p>サービス等利用計画作成 契約者数 81人</p> <p>新川地域自立支援協議会 児童部会 年6回</p> <p>個別相談：473件</p> <p>グループ療育（リンゴ教室）：延77回（309人） 施設（保育園等）支援：89件</p>
--	--	---	---



障害者交流センター（ダンス教室）



つくし学園（感覚遊び）



つくし学園（療育等支援事業）

4 介護保険サービス拠点（収入額：454,390,085円 支出額：274,412,249円）

1 ホームヘルプステーション事業サービス区分（収入額：165,533,743円 支出額：100,159,298円）

(1)ホームヘルプステーション事業 予算額 161,970,000円		収入額 165,533,743円	支出額 100,159,298円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○要介護の方、障がいのある方などが、地域で安心して自立した日常生活を送る事ができるよう、自宅を訪問し、身体介護、生活全般において支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ効率的・柔軟性のある質の高いサービスに努めます。 ・サービスの多様化に対応できるよう職員配置の安定化と人材育成に努めます。 ・多様なサービス提供により利用者確保と安定した経営に努めます。 ・利用者のニーズに応じたサービス・自立支援のサービス提供に努めます。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 	<p>目標：31,250件 (2.5%増)</p> <p>訪問介護：18,840件 (+1,150件)</p> <p>総合事業：5,320件 (+320件)</p> <p>障害：6,240件 (-720件)</p> <p>私的：850件 (前年度目標:30,500件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の迅速な対応や利用者ニーズ・自立支援を重視したサービス提供に取り組みました。 ・多様化するニーズに適切に対応するため、多職種との連携や研修に積極的に参加し、資質向上に努めました。 ・10月の消費税増税を期に、実態に即した料金体制の見直しを行い、私的サービス利用料を改定しました。 ・サービス提供実績は、前年度実績より618件減となりましたが、サービス活動収益は2.7%増となりました。 	<p>営業日 12月29日～1月3日を除く 毎日</p> <p>延訪問回数：30,815件 訪問介護：19,854件 総合：4,922件 障害：5,545件 (同行、移動支援含む) 私的：494件</p> <hr/> <p>(前年度実績)</p> <p>12月29日～1月3日を除く 毎日営業</p> <p>延訪問回数：31,433件 訪問介護：19,042件 総合：5,289件 障害：6,661件 (同行、移動支援含む) 私的：441件</p>

2 東部デイサービスセンター事業サービス区分（収入額：134,881,297円 支出額：84,704,923円）

(1) 東部デイサービスセンター事業	予算額 130,081,000円	収入額 134,881,297円	支出額 84,704,923円
--------------------	------------------	------------------	-----------------

年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○自宅に閉じこもりがちな要介護者の社会的孤立を軽減し、食事、入浴、排泄介助など日常生活等の援助や生活リハビリテーション、レクリエーション等によって、心身機能の維持・向上を図り、自宅での自立した生活をより長く続けられるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身機能の維持回復だけでなく家族介護の負担軽減を目的に支援します。 ・特に認知症の方に有効なレクリエーション活動や対応支援を通じ、進行予防や周辺症状の緩和に努めます。 ・居宅介護支援事業者への積極的な空き情報を提供します。 ・認知症対応型利用者（定員12人）の稼働率90%以上の維持に努めます。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 	<p>※利用定員：35人 目標：10,060人（0.3%増） 通所介護：4,800人 認知症：3,660人（-20人） 総合事業：1,600人（+60人） （前年度目標：10,020人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月よりサービス提供時間の延長を行い、より充実したサービス提供を行いました。 ・認知症対応型サービスとして、職員の資質向上のための自主研修会、認知症の進行を緩めるために有効なレクリエーション内容の充実等を行い、サービスの質の向上に取り組みました。 ・効率的な職員配置、物品等の購入業者の見直しなどを行い、経費削減に向けた取り組みを強化しました。 ・延べ利用者数は1,569人減でしたが、総合事業での利用者が通所介護利用となったことや経営改善の取り組みにより、サービス活動収益は4.9%増となりました。 	<p>営業日 12月31日～1月3日を除く毎日</p> <p>通所介護 4,451人 認知症対応型 2,895人 総合事業 1,030人</p> <p>合計 8,376人</p> <p>（前年度実績） 通所通所 4,721人 認知症対応型 3,669人 総合事業 1,555人</p> <p>合計 9,945人</p>

3 身体障害者デイサービス事業サービス区分（収入額：71,719,138円 支出額：44,276,585円）

(1) 身体障がい者デイサービス事業	予算額 9,690,000円	収入額 9,687,144円	支出額 9,669,835円
(2) 通所介護・生活介護事業	予算額 62,403,000円	収入額 62,031,994円	支出額 34,606,750円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○在宅で生活する障害のある方の生活改善・身体機能の維持向上を図るために、通所による創作活動や機能訓練を提供し、自立と社会参加を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し、個性を生かしたサービスを提供に努めます。 	<p>※利用定員：23人 目標：5,030人（0.1%増） 通所介護：1,320人 総合事業：440人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人が積極的に社会参加し、生き生きと自立した生活を営めるような支援に努めました。 ・共生型サービスの提供体制を強化し、障がい児や医療的ケア児など幅広い受け入れを行いました。 	<p>営業日 日、祝日及び12月29日～1月3日を除く月～土</p> <p>利用定員：23人 延利用者数：4,731人</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図り、質の高いサービスを提供します。 ・地域住民と交流する活動の充実と利用者の確保と効率的な運営に努めます。 ・利用者確保のため、新規利用者や早急の受入れに積極的に対応していきます。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 	<p>生活介護:3,060人(+10人) 身障デイ(受託):210人 (前年度目標:5,020人)</p>	<p>あわせて、令和2年度から共生型放課後等デイサービス事業開始にむけて、地域ニーズ調査、情報収集などを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉への理解促進と、子どもたちの福祉教育を目的に「ふくし」体験講座を開催しました。 ・企業への就職、転居、入院などに利用中止により延利用者数は269人減少し、さらに、サービス活動収益も3.9%減となりました。 	<p>通所介護:1,168人 総合事業:537人 生活介護:2,800人 身障デイ:226人 (前年度実績) 延利用者数:5,000人 通所介護:1,092人 総合事業:482人 生活介護:3,195人 身障デイ:231人</p>
---	---	--	---

4 居宅介護支援事業サービス区分（収入額：82,255,907円 支出額：45,271,443円）

(1) 居宅介護支援事業		収入額 82,255,907円	支出額 45,271,443円
年度計画		元年度事業報告	
事業内容等	実施時期・目標等	主な取組み等	実績等
<p>○利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿った社協らしいケアマネジメントの実施に努めます。 ・研修会等に参加し、職員の質の向上を図り介護支援専門員の育成に努めます。 ・効率的な業務と安定した運営に努めます。 ・多職種や地域との連携を強化し、地域包括ケアを実践し地域貢献に努めます。 ・地域福祉課等の連携強化、困難ケースへの積極的な対応を図ります。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 	<p>目標:2,880人(4.3%増) 要介護1・2:2,040人(+120人) 要介護3～5:840人 (前年度目標:2,760人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施しました。また、一人一人の生活スタイルに合わせたその人らしい計画書の作成を行いました。 ・困難事例への積極的な取り組み、介護支援専門員研修の受け入れ、他法人との事例検討会の開催など地域貢献に努めました。 ・入院加算、退院・退所加算等の適切な加算請求、新規利用者の積極的な受け入れ等により、収益増加を図りました。 ・延利用者数 372人増、サービス活動収益13.7%増となりました。 	<p>営業日 祝日及び12月29日～1月3日を除く月～金 延利用者数:3,242人 要介護1・2:2,232人 要介護3～5:1,010人 (前年度実績) 延利用者数:2,870人 要介護1・2:2,039人 要介護3～5:831人</p>